

令和5年度進行管理 戦略点検シート

◎基本政策 3 活力と魅力あふれるまちの創造

主要課題	No. 31	商店街の活性化
-------------	--------	---------

● 4年後の目指す姿・計画期間の方向性 ●		主要課題の戦略シートで設定している「4年後の目指す姿」と「計画期間の方向性」を転記しています。
4年後の目指す姿	地域の特性を生かした魅力的で活気のある商店会活動が行われているとともに、外国人観光客等を含む、商店街を訪れる全ての人にとって快適な購買環境が整備されている。	
計画期間の方向性	○地域特性を生かした商店街活性化 個店の経営力強化や商店街の販売促進を図るため、地域の特性を生かした商店会の主体的な取組を支援し、商店街の活性化につなげます。 ○利便性の高い快適な購買環境の整備 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴う外国人観光客の増加等を踏まえ、商店の多言語化やキャッシュレス化を促進し、利便性の高い購買環境の整備を進めます。	

0 昨年度の施策の方向性（昨年度の点検における「4 今後どのように進めていくか」）	
文京ソコヂカラエリアプロデュース事業等を通じて文京区商店街連合会や各商店街の若手人材の活動の支援を継続し、新しい発想による情報発信やイベントの実施を促すことで、次代を担う人材育成につなげ、持続可能な商店街活動の活性化を図ります。 キャッシュレス決済の導入の支援や区内商店の業態転換等を支援するとともに、社会情勢を踏まえた支援策を迅速に検討し、実施していきます。また、「文京ソコヂカラ」サイトを活用して、更なる発信力強化に向けた内容の充実を図るとともに、時宜に応じた各種文京ソコヂカラキャンペーンを実施していきます。さらに、区内商店向けセミナーについては、経営力強化や販売促進につながるテーマ設定や、より参加しやすい実施方法等について検討していきます。	

事業費（令和4年度） 上段：実績 下段：当初予算

1 どのような事業で・何をしたか（実績）		戦略シートの課題の解決手段として紐づけた計画事業について、「何をしたか」「何がどうなったか」を記しています。						
事業番号	事業名称	所管課	事業の持つ役割	事業費(千円)				
113	商店街振興対策事業	経済課	個店の経営力向上と商店街の魅力の向上を図る。	737,208千円				
				(55,494千円)				
	主な取組実績							
	R1(2019)	湯島・根津地区でスタンプラリーを実施し、本郷地区の既存イベントの情報発信を強化し、白山下商店会で地域の魅力を発信するポスターを作成しました。						
	R2(2020)	本郷地区の既存イベントの企画・運営を行いました。他地区については、イベントの企画調整を行いました。コロナ禍の影響により実施に至りませんでした。						
R3(2021)	本郷地区の既存イベントの企画・運営及び文京区商店街連合会の新規イベントの企画・運営を行いました。他地区については、イベントの企画調整を行いました。コロナ禍の影響により実施に至りませんでした。							
R4(2022)	本郷地区で既存イベントの企画・運営、白山下商店会で商店会マップの作成、根津地区で既存イベントの企画・調整、文京区商店街連合会で新規イベントの企画・運営を行いました。							
114	商店街販売促進・環境整備事業	経済課	商店会の販売促進活動や、商店街活性化のための環境整備を支援する。	18,256千円				
				(55,903千円)				
	主な取組実績							
			単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)
①	商店街販売促進事業で支援した商店街イベント数	件	13	10	4	6	8	
②	商店街チャレンジ戦略支援事業で支援した商店街イベント数	件	33	31	4	8	17	
③	商店街チャレンジ戦略支援事業で支援した活性化施策数（街路灯、フラッグ作成、多言語対応等）	件	4	2	4	6	1	
115	ウェルカム商店街事業	経済課	個店の購買環境の向上とインバウンド需要の取込を促進する。	2,227千円				
				(2,227千円)				
	主な取組実績							
		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
①	多言語対応やキャッシュレス決済等に関するセミナーの参加者	人	23	60	34	35	46	

●特記事項（実績の補足）	
（この欄は空欄です）	

2 現総合戦略において、社会ではどのような動きがあったか（社会環境等の変化）

人口の増減や、国や都の動きなど、主要課題の背景に関して、令和2年度から5年度までの現総合戦略の計画期間において、「何があったか」「今後予想される」等の社会の変化を捉えています。

チェック	チェック項目
無	主要課題に関連する法改正があった（今後、法改正がある）
有	主要課題に影響を及ぼす変化等があった（今後、変化等の可能性がある）

コロナ禍においては、緊急事態宣言等に伴う外出自粛、営業時間の短縮要請等により、多くの区内商店が来街者の減少による売上の低下等に直面し、訪日外国人観光客の減少によりインバウンド需要も激減しました。その一方で、「新しい生活様式」として、宅配やテイクアウト、キャッシュレス決済に対する需要が高まりました。多くの商店街でイベントの実施が見送られる状況が続きました。また、コロナ収束後の来街者の増加に向けて、地域特性を生かしたイベントなどの再開や商店の販売力の向上、購買環境の強化が求められています。

3 現総合戦略における成果や課題は何か（点検・分析）

1と2に基づき、計画期間の方向性ごとに、令和2年度から5年度までの現総合戦略の計画期間において、「課題解決にどのような成果があったか」「成果が出ない要因は何か」「新たな課題が生じてないか」などを点検・分析します。

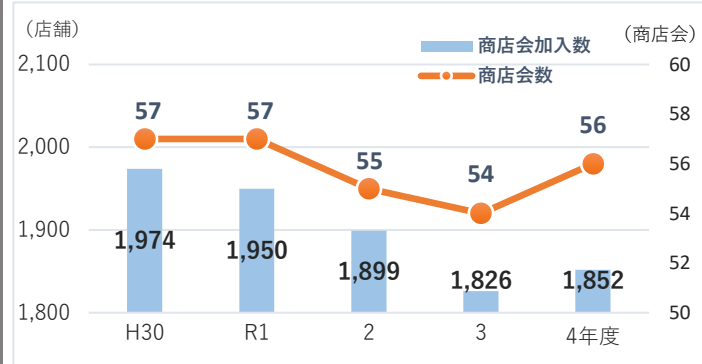
○地域特性を生かした商店街活性化

令和2年度に「文京ソコヂカラ」サイトを立ち上げて区内商店の情報発信と利用促進を図るとともに、文京区商店会連合会と連携して区内商店の宅配、テイクアウトを支援しました。
3年度に、値引きやおまけなどの消費者還元サービスに係る経費を補助する「感染対策実施店舗応援事業」等により商店ごとの創意工夫を活かした取組を支援しました。
4年度に「文京ソコヂカラ」サイトをリニューアルして、店舗紹介動画を作成する等により発信力の強化を図るとともに、「がんばるお店応援キャンペーン」により、消費者還元サービスに係る経費と原材料等の購入経費を補助しました。同事業については、令和5年5月に第3弾を実施しました。
商店街イベントについては、エリアプロデュース事業による商店街への専門家派遣等を通じて、引き続きコロナ収束後の再開に向けた支援を行います。

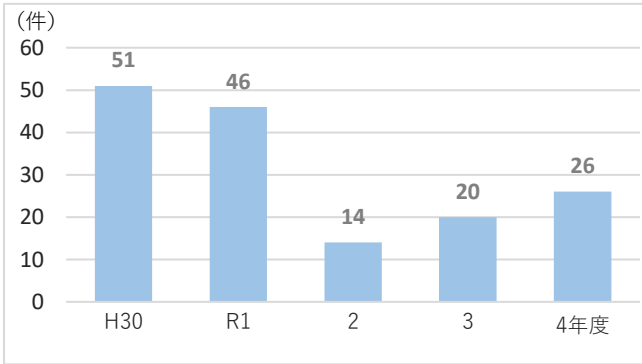
○利便性の高い快適な購買環境の整備

新型コロナウイルスの感染拡大を契機とするライフスタイルの変化を受け、令和2年度から、従前のプレミアムお買物券に代わり、「キャッシュレス決済ポイント還元事業」を文京区商店街連合会と連携して実施しています。キャッシュレス決済の浸透度は年々増しており、引き続きキャッシュレス決済に馴染みの薄い方への周知と利用促進を図る必要があります。
コロナ禍による訪日外国人観光客の減少を受けて、「ウェルカム商店街セミナー」のテーマを従前のインバウンド需要の獲得から、宅配、テイクアウト、キャッシュレス決済等に転換して実施しました。5年度からは「区内商店販売力向上セミナー」として商店の販売促進をテーマに実施する予定です。

●区内商店会と商店会加入店舗数の推移



●商店街のイベント・活性化事業補助件数の推移



4 次期総合計画において、どのように進めていくか（展開）

3を踏まえ、「何の対応が必要か」「何をどのようにしていくか」など、令和6年度から9年度までの次期総合計画の計画期間における戦略としての進め方を記しています。

商店街エリアプロデュース事業を通じて、地域の特性を活かしたイベントなど商店会の主体的な取組を支援し、地域経済の活性化を図るとともに、文京区商店街連合会や各商店会の若手人材の活動を継続的に支援することで、次世代を担う地域人材の育成を図ります。
文京ソコヂカラサイト等を活用した情報発信や区内商店販売力向上セミナー等により、区内商店の利用促進と販売力の向上を図ります。

5 6年度、事業をどうするか（事業の見直し）		主要課題に紐づけられている個々の計画事業の6年度の検討の方向性を「継続」「レベルアップ」「見直し・縮小」「事業終了」「計画変更」で記します。	
事業番号	計画事業名	所管課	次年度の方向性
113	商店街振興対策事業	経済課	レベルアップ
114	商店街販売促進・環境整備事業	経済課	継続
115	ウェルカム商店街事業	経済課	事業終了（R4年度）

●まち・ひと・しごと創生総合戦略重要業績評価指標(KPI)

指標	単位	2019	2020	2021	2022	2023	2023（目標）
商店街加入促進支援事業（加入数から退会数を減じた数）	店	△24	△75	△148	△122		±0
	加入数	100	122	49	137		
	退会数	124	173	122	111		
	単年度実績	△24	△51	△73	26		